



連絡先の管理

システム連絡先は、ボイス メッセージなどの Cisco Unity Connection 機能にアクセスできないユーザのタイプです。システム連絡先は、別のシステム上にボイスメール アカウントを持つ社内の個人や、ボイスメールボックスを必要としないが Connection のユーザと頻繁に連絡を取り合う顧客またはベンダーを表している場合があります。

詳細については、次の項を参照してください。

- システム連絡先の使用方法 (P.9-1)
- 連絡先テンプレートの作成、修正、削除 (P.9-2)
- 連絡先の作成、修正、削除 (P.9-4)
- 連絡先の代行ユーザ名の作成または変更 (P.9-5)
- SMTP プロキシアドレス (P.9-6)

システム連絡先の使用方法

システム上にメールボックスを持たないスタッフ、ベンダー、またはパートナーがユーザと連絡を取り合う必要がある場合は、それらの人々のシステム連絡先を作成することをお勧めします。システム連絡先は、ユーザごとに個別に設定する必要のある個人連絡先とは異なり、すべてのユーザが使用できます。また、ユーザは、システム連絡先をパーソナル着信サービスおよび発信者グループに追加したり、ボイス コマンドを使用してシステム連絡先に電話をかけたりすることができます。また、連絡先情報に変更があった場合に、1 箇所ですべてアップデートすることもできます。次の細かい点に注意してください。

- **VPIM メッセージング**：システム連絡先を VPIM メッセージング向けに設定できます。これらのシステム連絡先は、その他の VPIM 対応ボイス メッセージ システム上のユーザを表しています。システム連絡先が VPIM ユーザを表すように設定されている場合、Connection ユーザはその他のボイス メッセージ システム上の VPIM ユーザとの間でメッセージを送受信できます。
- **ディレクトリ アクセス**：Cisco Unity Connection の管理にシステム連絡先を作成し、それらをディレクトリに表示させている場合、ユーザは Connection ディレクトリからシステム連絡先にアクセスできます。その結果、発信者はシステム連絡先の内線に転送できます。
- **名前によるダイヤル アクセス**：システム連絡先によって転送が有効化されている場合、ユーザはユーザ スピーチ認識カンバセーションを使用して、システム連絡先に迅速かつ簡単に電話をかけることができます。
- **パーソナル着信転送ルール**：ユーザは、他のユーザ、システム連絡先、および個人連絡先をパーソナル着信転送ルールおよび発信者グループに追加できます。

連絡先テンプレートの作成、修正、削除

Cisco Unity Connection に追加する各システム連絡先は、連絡先テンプレートの設定に基づいています。テンプレートの設定内容は、連絡先の作成時に連絡先に適用されます。Connection には定義済みの連絡先テンプレートが 1 つ用意されており、このテンプレートに変更を加えることができます。また、テンプレートを新しく作成することもできます。

Connection が定義済みのパーティションを 2 つ以上持っているか、または VPIM ネットワーキング向けに設定されている場合は、各パーティションまたは各 VPIM ロケーションに対して連絡先テンプレートを作成できます。

次の手順を参照してください。

- [連絡先テンプレートを作成する \(P.9-2\)](#)
- [連絡先テンプレートを修正する \(P.9-2\)](#)
- [連絡先テンプレートを削除する \(P.9-3\)](#)

連絡先テンプレートを作成する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で [テンプレート (Templates)] を展開し、[連絡先テンプレート (Contact Templates)] をクリックします。
- ステップ 2** [連絡先テンプレートの検索 (Search Contact Templates)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [連絡先テンプレートの新規作成 (New Contact Template)] ページで、エイリアスと表示名を入力します。
- ステップ 4** 連絡先テンプレートが VPIM の連絡先に対して使用される場合は、[配信ロケーション (Delivery Location)] フィールドで該当する配信ロケーションを選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

連絡先テンプレートを修正する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で [テンプレート (Templates)] を展開し、[連絡先テンプレート (Contact Templates)] をクリックします。
- ステップ 2** [連絡先テンプレートの検索 (Search Contact Templates)] ページで、修正する連絡先テンプレートの表示名をクリックします。



(注) 修正する連絡先テンプレートが検索結果テーブルに表示されない場合は、ページの上にある検索フィールドに適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] をクリックします。

- ステップ 3** [連絡先テンプレートの基本設定の編集 (Edit Contact Template Basics)] ページで、必要に応じて設定を変更します (フィールドについては、[ヘルプ (Help)] メニューの [ページ上 (This Page)] をクリックしてください)。

- ステップ 4** [連絡先テンプレートの基本設定の編集 (Edit Contact Template Basics)] ページで設定の変更を完了した後、[保存 (Save)] をクリックします。
-

連絡先テンプレートを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で [テンプレート (Templates)] を展開し、[連絡先テンプレート (Contact Templates)] をクリックします。
- ステップ 2** [連絡先テンプレートの検索 (Search Contact Templates)] ページで、削除する連絡先テンプレートの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。
-

連絡先の作成、修正、削除

連絡先テンプレートが作成済みの場合、手動で連絡先を作成または修正することができます。次の手順を参照してください。

- [連絡先を作成する \(P.9-4\)](#)
- [連絡先を修正する \(P.9-5\)](#)
- [連絡先を削除する \(P.9-5\)](#)



(注)

VPIM の連絡先を手動で作成、修正、および削除するほかにも、着信 VPIM メッセージに含まれる情報に基づいて VPIM の連絡先ディレクトリのレコードを自動更新するように、Cisco Unity Connection を設定することができます。詳細については、『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「VPIM ネットワークの使用方法」の章にある「[VPIM 連絡先ディレクトリの更新設定のカスタマイズ](#)」の項を参照してください。

連絡先を作成する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、**[連絡先 (Contacts)]** をクリックします。
- ステップ 2** [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、**[新規追加 (Add New)]** をクリックします。
- ステップ 3** [連絡先の新規作成 (New Contact)] ページで、必要に応じて次の設定を入力します (フィールドについては、[ヘルプ (Help)] メニューの **[ページ上 (This Page)]** をクリックしてください)。



(注) * (アスタリスク) のマークが付いているフィールドは必須です。

- ステップ 4** **[保存 (Save)]** をクリックします。
- ステップ 5** [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページで、連絡先の設定の入力を続行します (フィールドについては、[ヘルプ (Help)] メニューの **[ページ上 (This Page)]** をクリックしてください)。
- ステップ 6** [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページで設定の入力を完了した後、**[保存 (Save)]** をクリックします。
- ステップ 7** [編集 (Edit)] メニューで、次の任意 (またはすべて) の関連ページをクリックして、必要な設定を新しい連絡先に追加する作業を続行します。
 - [代行ユーザ名 (Alternate Names)]
 - [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)]

連絡先を修正する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、**[連絡先 (Contacts)]** をクリックします。**[連絡先の検索 (Search Contacts)]** ページが開きます。
- ステップ 2** 修正する連絡先を見つけます。
- ステップ 3** 必要に応じて、このページで設定を変更します。**[連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)]** ページで設定の変更を完了した後、**[保存 (Save)]** をクリックします。
- ステップ 4** **[編集 (Edit)]** メニューで、該当するページをクリックして、連絡先の設定の変更を続行します。これらのページでいずれかの設定を変更した場合は、他のページに移動する前に **[保存 (Save)]** をクリックします。

連絡先を削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、**[連絡先 (Contacts)]** をクリックします。
- ステップ 2** 削除する連絡先を見つけます。
- ステップ 3** **[選択項目の削除 (Delete Selected)]** をクリックします。
- ステップ 4** 削除の確認を求めるダイアログボックスが開きます。**[OK]** をクリックします。

連絡先の代行ユーザ名の作成または変更

代行ユーザ名は、会社のディレクトリにリストされる名前の別バージョンです。Cisco Unity Connection は、ユーザが音声認識を利用して電話をかけるときにこれらの名前を考慮します。たとえば、発信者が「Mary Jameson」（旧姓は Mary Brown）にダイヤルするように Connection に要求した場合、Connection はこの情報を参照して、発信者をこのユーザに接続します。ユーザまたは連絡先の代行ユーザ名に関する詳細については、[P.4-74 の「代行ユーザ名」](#)を参照してください。

SMTP プロキシアドレス

Cisco Unity Connection は、ユーザが IMAP クライアントから送信する着信 SMTP メッセージの受信者を該当ユーザまたは VPIM の連絡先にマップするために、SMTP プロキシアドレスを使用します。ユーザが IMAP クライアントを使用して Connection サーバ上の VPIM の連絡先にメッセージを送信、返信または転送する場合は、個々の VPIM の連絡先を設定する必要があります。VPIM の連絡先の設定では、ユーザが自身の IMAP クライアントからその連絡先を指定するために使用する可能性のある SMTP アドレスを使用します。



(注)

VPIM ロケーションに関連付けられていないシステム連絡先は、Connection サーバを介して IMAP クライアントから送信された SMTP メッセージを受信できません。このタイプの連絡先がメッセージ受信者として含まれている場合、Connection は [システム設定 (System Settings)] > [一般的な設定 (General Configuration)] > [受信者が見つからない場合 (When a recipient can not be found)] 設定で選択されたオプションに従って、その受信者へのメッセージを処理します。

ユーザが IMAP クライアントを使用して、Connection サーバを介してメッセージを送信、転送または返信できるように Connection を設定する方法の詳細については、『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「[IMAP 設定値の設定](#)」の章を参照してください。

連絡先の SMTP プロキシアドレスを設定する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、該当する連絡先を検索します。
- ステップ 2** [編集 (Edit)] メニューの [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] をクリックします。
- ステップ 3** [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 4** [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] テーブルで、[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Address)] カラムにアドレスを入力します。
- ステップ 5** 追加するアドレスごとに、[ステップ 3](#) および [ステップ 4](#) を繰り返します。
- ステップ 6** アドレスの追加を完了した後、[保存 (Save)] をクリックします。